

見発見

第3部 変える ⑨

「民話のふるさと」として知られる遠野市。その北西部に位置する宮代地区では、農家を中心とした53戸の小さな集落が、都倉から足を運ぶ人たぎを巻き込み、地域おこしに奮闘している。

里山クラブ「やかまし村」幹事 糠森隆さん 59(遠野市)

ていました。当時、グリーンツリーズムのまっなことをしていたのは私だけ。このままでいいか、と聞き取り調査しながら、農家に泊まって農業を手伝いました。学生との距離が縮まり、民泊に取り組む家は5軒に増えました。実習は約束通りの5年間で終わりましたが、「学生に限らず、

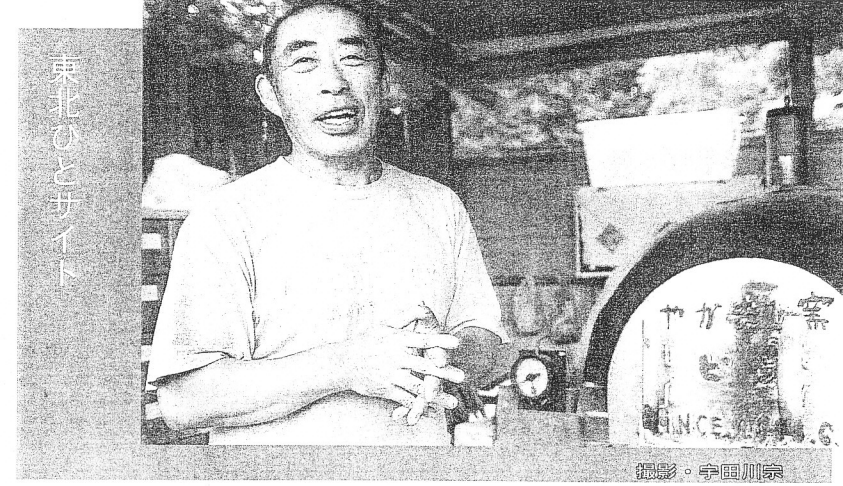
都会人交え集落活性化

地区外の人を受け入れる窓口を作ろう」と声が上ががり、やかまし村が生まれました。泊めることができない農家も行事に積極的に参加するようになり、地区の外から来る人を受け入れる「村民」は20人に増えた。

「村を楽しくするプロジェクト」と名付け、地区外の人とイベントも企画します。昨年秋には、地元土や岩を使い、ピザ用の土窯「やかまし窯」を完成させました。毎月第3日曜日には一緒にピザを焼いて、交流しています。里山の溪流沿いに遊歩道の整備を進めています。ログハウスを建てる計画もあります。企画の根底には「自分たちが楽しくなければ、外から来た人たちが楽しくない」という思いがあります。

この地区も20年ほど前から高齢化、後継者不足に直面しています。休耕田が増え、伝統行事も途絶えてしまいました。どうすれば、子どもたちに里山の暮らしを残していけるのか考えをもち、地区の外の人たちの力を借りることを思いつき、昨年、「やかまし村」という組織を作りました。名前には、やかましと感じのいい響きになるように、ことごとく願いを込めました。考え方や世代の違う人たちが来れば、大きな刺激になります。集落を元気にする、というのが一番の狙いです。

きっかけは7年前にさかのぼる。社会調査の実習に訪れる東洋大(東京)の学生を集落のみで受け入れたことだった。



東北のとてついで

撮影・宇田川宗

を相手に酒を酌み交わすこと。「酒が場の空気を和らげ、面白いアイデアが次々わいてくる」という。グリーンツーリズムを始めたのも、祭り見物に訪れた観光客を酒の席に誘い、意気投合したのがきっかけだった。

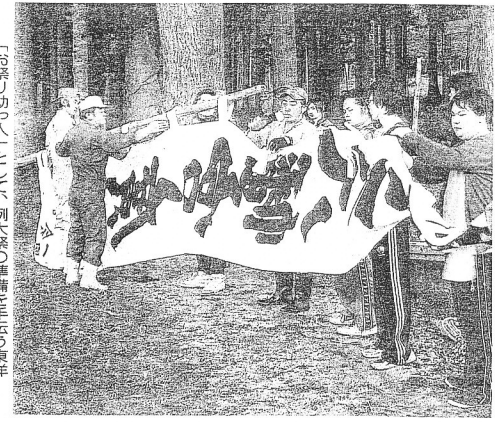
＊ ぬかもり・たかし 1950年生まれ。両親と妻、息子夫婦、2人の孫に囲まれて暮らす。

酒盛りが潤滑油に 先祖代々の農家に生まれ、妻と2人で「自然農園みやしろ」を切り盛りする。約2畝の田んぼでのコメ作りのほか、リンゴやブルーベリーを栽培している。都会に住む人たちと、農業を通じて交流する「遠野グリーンツーリズム研究会」も主宰し、多い年には50人以上が家を訪れる。すぐに「どこから来たか?」「恋人はいるの?」などと質問攻めにして、「気の置けない仲になる」という。趣味は海釣り、と、「やかまし村」のメンバー

「村を楽しくするプロジェクト」と名付け、地区外の人とイベントも企画します。昨年秋には、地元土や岩を使い、ピザ用の土窯「やかまし窯」を完成させました。毎月第3日曜日には一緒にピザを焼いて、交流しています。里山の溪流沿いに遊歩道の整備を進めています。ログハウスを建てる計画もあります。企画の根底には「自分たちが楽しくなければ、外から来た人たちが楽しくない」という思いがあります。

り助っ人」が欠かせない存在になった。助っ人は、「やかまし村」のホーム・ページ <http://yakamashimura.co.jp/> で募集し、昨年は県内外から22人が駆けつけた。

今年の例大祭は9月26日。すでに東京から来る助っ人とメールで打ち合わせも始めていて、中国の楽器・二胡のコンサートやパントマイムのステージを企画している。



「お祭り助っ人」として、例大祭の準備を手伝う東洋大の学生たち(2007年9月、遠野市松崎町)

「お祭り助っ人」が盛り上げ

糠森さんたちは、宮代地区を長年見守ってきた「元八幡神社」の例大祭も、地区外の人たちと協力し、復活させた。7年前までは、例大祭と言えば、集落の男衆だけが、神事の後に酒盛りをする形式的なものだった。しかし、「子ども心に覚えているような祭りの楽しさを孫の世代に伝えたい」と考え、実習に来ていた東洋大の学生たち呼びかけ、綿菓子などの模擬店、神楽の奉納などを企画。子どもからお年寄りまでが楽しめる「みんなの祭り」に変えた。

以来、例大祭では東京などから応援に来てくれる「お祭

クリッコ

東北の名宝290点

「東北の群像—みちのく折りの名宝」が19日から、宮城県多賀城市の東北歴史博物館で開かれる。開館10周年を記念した特別展で、秋田県大仙市の「線刻千手観音等鏡像」と山形県米沢市の「上杉家文書」の国宝2点のほか、縄文時代の土偶や信仰対象だった武士の鎧といった重要文化財など東北地方の名宝約290点が展示される。11月1日まで。休館日は祝日を除く月曜日と9月24日、10月13日。問い合わせは同館(022-368-0106)へ。

2010年 合格目標 税理士講座・社会保険労務士講座 料金のお問い合わせは電話・FAXにて。